



# さくら並木

～無医村を救った慈愛の医師～

松山京子先生 (みやぎの先人集より)

大河原町長 齋 清志



このたび、大正時代や昭和時代に活躍した宮城県にゆかりのある人たちの生き方をまとめた、『みやぎの先人集第二章、未来への架け橋』が宮城県教育委員会から発刊されました。先人の生き方を学ぶとして、本町でも小学校高学年の道徳の授業で活用されているとのこと。この本に、当時の金ヶ瀬村で医院を開業し、『県民の母』第1号となった松山京子先生が紹介されています。私の母の話しによれば、幼い頃ひきつけを起こしては松山医院にお世話になったと良く聞かされました。心配のあまり「この子大丈夫でしょう」と何度も京子先生に訪ねたそうですが、「ひきつけは頭の良い証扱ですよ」とにこやかに返してくれました。事実は違ったかもしれませんが、私と同年代の町民の間では、こういったエピソードが数多く語り継がれているのではないのでしょうか。何となく、懐かしさもあり、懐かしさもあると思います。

京子先生は、仙台空襲で家を焼かれ当時の小山田村に間借りしながら患者を診ていたようですが、腕のいい女医さんとして評判だったとのこと。無医村だった金ヶ瀬村の村長や助役が何度も熱心に開院のお願いに通った結果、ついに承諾を得ることになりました。京子先生が43歳の時だったそうです。その後、家族が仙台に帰ることになったので、京子先生は自分一人が金ヶ瀬に残る道を選び、地域医療への貢献と慈愛に満ちた活動を続けることになったのです。山越えの遠い家でも大雪の凍える夜でも、頼まれれば往診料なしでも出かけたそうです。そればかりか、生活の苦しい家族からは、「あとでいいのよ」と言って治療代や薬代さえ取らないこともあったようです。見立てが良く腕も良く、気さくで明るい誰にでも優しい先生でした。その豊富な経験と日々学び続けた最新医学の知識によって、当時では助からないと思われた命さえも、

とりとめた出来事が伝説のように語り継がれています。そして、開業から40年以上金ヶ瀬で地域医療に尽くされた京子先生は、「金ヶ瀬の方々には家族と同じ」と言って親しく接し続けたのでした。この間、いただいた校医の報酬や講演料で、「心の栄養に」と言って、小中学校へたくさんの本を贈り、今もそれは『松山文庫』として利用されています。この京子先生の『志』は金ヶ瀬の人々に受け継がれ、現在も本の寄贈が続けられています。また、永年町議会議員を務められた大場吉樹先生が中心になって、京子先生への思いを込めた本『慈愛』の発刊や、その精神を受け継ぐ『慈愛表彰』も継続されてきています。98歳で京子先生は亡くなられましたが、『我が子を愛するような慈しみの気持ち』である慈愛の精神は、いつまでも人々の心を癒し続ける『未来への架け橋』となるに違いないと願って止まないと述べています。(3月16日記)

## 駅前図書館今月の新刊 まちの本棚

### 一般

めざすは認知症ゼロ社会！

スマートエイジング

川島 隆太/著

【ミネルヴァ書房】

華麗なる加齢IIスマートエイジングを実践しよう！現代人の日常生活を「スマホ」「朝食」と脳の働きとの関係で見つめ直し、スマートエイジングのための「脳力」アップの方法を、具体的な事例とともに紹介する。

### 小説

淀上今日子の色見本

【講談社】

淀上今日子が誘拐された。突然の脅迫電話を受けた、置手紙探偵事務所唯一の従業員・親切守は、手探りで捜査を開始する。一方、今日子は犯人のもとで目を覚まして。忘却探偵シリーズ第10弾。

### 児童

命のダイヤル

【汐文社】

病気のため、余命3か月と診断された16歳の美奈。訪れた海辺の町で、小林という中年男性と出会った美奈は、残された時間を彼と親子のふりをして過ごすことになるが、泣ける物語をあつめた感動の作品集。

### 絵本

ぎゅっ

【BL出版】

あかね、マールくんはうまれてすぐに、おあさんのゆびをぎゅっ。はじめてのあくしゅに、おあさんはおまわすにこりしたのよ。あかね、マールくんはおとうさんがしごとからかえるのを、まいにちまちかまえていたのよ。かえってきたら、すぐさまあしにとびついてぎゅっ。そして、いつもそばにいてくれる、ねこのミーもぎゅっ。

# 学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

## しなやかでたくましい児童を目指して

新年度にあたり、大河原小学校の学校経営方針「桜花児童プラン」の柱の一つを「たくましさ」の育成としました。「たくましさ」という言葉には、「自分から挑戦していく」という気概とともに、自分とは異なる考えに出会っても、それを受け入れながら新たな道を切り開く「しなやかさ」が含まれています。様々な行事をとおして、新しいことへ前向きに挑戦させていきながら、日常の授業では、根気強く考え抜いたり、相手の気持ちを意図的に設けることで、子供たちのたくましさを育てていきます。今年度も、応援をよろしく願います。



## 金ヶ瀬小学校

### 金小の伝統を先輩から後輩へ！

金ヶ瀬小学校では、毎年2月に堤神楽の引継ぎ式が行われます。この堤神楽は、金小では30年以上の伝統があり、先輩から後輩に引き継がれてきました。3学期になると、引継ぎ式に向け、6年生が5年生へ舞やお囃子を伝授します。練習時間は業

間休みや放課後を利用して、お囃子と踊り手に分かれて、それぞれの担当が教えます。当日は、始めに6年生が小学校最後の舞いを披露。その後弓や笛を5年生に託し、託された5年生は、それを使って練習の成果を披露します。先輩が一生懸命に教え、後輩が熱心練習した成果が実り、素晴らしい舞とお囃子を披露しました。



# 暗唱大好き

シリーズ②④

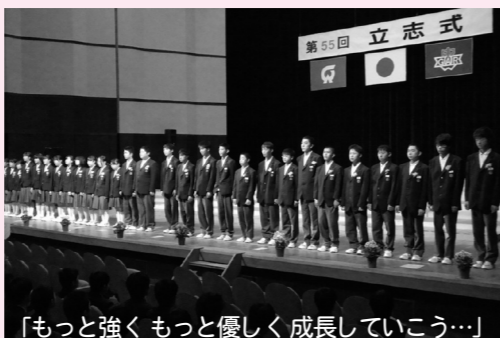
## 大中編

### 暗唱の先を目指して

毎週金曜日の朝学習は暗唱読本の時間です。この時間にたくさんの名文に触れ、心に栄養をたっぷり蓄えた生徒達は、自分の言葉で想いを伝えることに挑戦し始めました。

生徒代表として発表する時には、原稿を見ないで聴衆の顔を見ながら話す生徒がほとんどです。時々、話す内容を忘れてうまく話せないこともあり、挑戦する姿にたくましさを感じます。

僕はホベイロという仕事をし、プロサッカー選手の手助けをしたい。 叶大



「もっと強く もっと優しく 成長していこう…」

今年の立志式では、学級ごとに誓いの言葉を群読で表現しました。想いを集めた言葉を吟味して原稿をつくり、どう読むかを相談して作り上げました。堂々として心に響くものになりました。また、支えてくれている人たちへの感謝や地域への想い、これからの生き方についての気持ち込めて、「夢輝いて」というオリジナルの歌を作り、全員で合唱しました。暗唱読本から学んだこと、感じたことから、その先を目指す生徒達への応援をよろしく願っています。